

しあわせ共感 安心のまち つるがしま の実現に向けて

令和2年度からスタートした「第6次鶴ヶ島市総合計画」。
市の将来像「しあわせ共感 安心のまち つるがしま」の実現に向け
て、市の取組などをお知らせします！

市では、未来を担う子どもたちのために、子育て環境の整備をしっかりと進めています。今月は、子育て世帯を支援するための取組として、学童保育室の整備と第2子以降の子どもの出産応援金について紹介します。

第2子以降の出産に応援金を支給します

市では、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進するため、不妊治療の助成をはじめ、相談支援体制の整備など、妊娠前から子育て期にわたる切れ目のない支援に取り組んでいます。

さらに、令和3年度からは、第2子以降の子どもを出産された家庭に対して、応援金の支給を始めました。

お子さんの誕生をお祝いし、多子世帯の子育てを応援します。

詳しくは、ホームページをご覧ください。



「鶴ヶ島市多子世帯応援金」



学童保育室の整備を進めています

今年度は、栄小学校の余裕教室を改修・整備して、新たに学童保育室として有効活用していきます。これにより、栄小学校区の学童保育室は20人程度の定員増加を見込んでいます。

今年1月にも、藤小学校区にあった学童保育室を学校敷地内に移転・整備し、定員を増やしました。また、杉下小学校区では、学童保育室の一つを小学校の近くへと移転させる予定です。

学校敷地内や小学校の近くに整備することで、交通・防犯上の安全性が向上し、これまで以上に、児童が安心して利用できる環境を整えていきます。